

新潟市議会議員

いしづき幸子 議会活動レポート

14

新潟市議会

市民ネットにいがた 市政報告



もうしばらくは、新型コロナウイルス感染症と共に生きる そんな中でも繋がりを大事にしていきます

■新型コロナウイルス感染症第7波に突入

感染状況が落ち着きを取り戻し、長く会って
なかった方との再会や、入所・入院している親
族との面会、町内の行事や懇親会の再開など、
市民生活と経済活動が活気を取り戻しつつあ
った矢先、再び感染力が強いオミクロンBA.5へ
の置き換わりが進み、第7波に突入しました。

新潟市としては保健所機能の重点化、検査の
拡充、医療体制のさらなる確保を行い、ワクチ
ン4回目接種対象者に医療従事者や高齢者施設
等従事者を追加しました。社会経済活動をでき
る限り維持する方針ですが、状況に応じて更な
る対応や指針が求められます。

私たちは2年半に及ぶ感染下の経験知から、
基本的な感染対策を徹底し、極端に恐れること
なく、冷静に賢く過ごしていきましょう。

まずは熱中症や夏風邪など体調管理に注意して
ください。体調のすぐれないときはお休みしま
しょう。無料検査所(無症状の方を対象に薬局
等で行っています)が身近にありますので活用
してください。マスクの着用については、暑い
日は熱中症の危険もありますので、屋外や、
室内で距離が確保でき会話のない場合は着用
の必要はありません。対応が順次更新されます
ので、情報が必要な方はお問い合わせください。

●新潟市ホームページ
コロナワクチン



■毎議会で質問

皆さまからたくさんのご意見やご相談を頂いて
います。私自身も議員になる前から深めている
問題もあり、それらの課題を毎議会、一般質問
で取り上げています。それによって、新潟市の
制度や仕組みが進展できたときは、議員として
のやりがいを感じています。

今回の議会活動レポートでは2月・
6月定例会一般質問の詳しい報告
を行います。特に、2月議会の「障がいのある
子どもへのICT活用による学びの保障」、「新
型コロナウイルス禍での女性の自殺者の増加」、6月
議会の「萬代橋を中心とする信濃川沿岸地区
の良好な景観形成」は、当事者の方や専門家
の方と共に質問を練り上げる形で行いました。
大変勉強になりました。これからも、話を聴き、
現場に足を運び、共に考え、提案するスタイ
ルをとっていきたくと思っています。

また、今年度は市民厚生常任委員会の委員
長を拝命しました。市民厚生常任委員会は、
子育て、福祉、防災、保健衛生、消防、市民
病院など市民生活に関連した多くの分野を
担当しています。丁寧に活発な審議を行い、
市民の暮らしの向上に向け尽力していきます。

新潟市議会議員

いしづき 幸子

2022年1月から7月まで

主な活動報告

公務のない日は事務所での仕事の整理や
市民相談を受けています。

2022年

- 1月24日
「新潟県女性議員の会」総会参加
- 1月27日
新潟市南区白南中学校で主権者教育推進
プログラムを実施
- 1月28日
新潟市女性議員の会 新年度予算編成に
あたって「女性政策の促進」について
市長・教育長要望
- 2月15日
北京 JAC・新潟 懇談会「ジェンダー平等社会」
参加
- 2月19日
新潟市女性つながりサポート事業
母子福祉連合会主催「スプリングフェスタ」
協力
- 2月17日～3月23日
新潟市議会2月定例会
- 2月24日
新潟市女性議員の会
「母子連への活動支援体制強化」について
市長要望
- 2月26日～27日
子ども人権ネット CAP・にいがた
25周年記念事業参加
- 3月10日
有志議員で「ロシアによるウクライナ侵攻に
反対」市長要望
- 3月12日
視覚障がい者のための「からだワークショップ」
参加
- 3月18日
市政調査会 伊勢みずほさん講演会
「がんのち晴れ～キャンサーギフトという
生き方～」開催
- 4月11日～6月13日
次期総合計画特別委員会
分科会と本委員会の開催
- 5月5日
新潟市子どもの権利週間関連イベント参加
- 5月15日
新潟市議会第19回議会報告会
コロナ禍の取り組み動画配信
- 5月19日～23日
新潟市議会5月臨時会
- 6月13日～7月1日
新潟市議会6月定例会
- 7月1日
「新潟市犯罪被害者等支援条例」
全会派の賛成を得て制定
- 7月6日27日
消防救助技術大会(6日新潟県大会 /27日
東北地区支部大会) 参加
- 7月21日
新潟市民生委員児童委員大会参加

皆さまからの意見・要望をもとに、
市長ならびに教育長に要望活動を行いました。

●市民ネットにいがたの取り組み

人工内耳を装着している子どもたちへの支援拡充

昨年より取り組んできましたが、新年度予算に人工内耳用
電池が「障がい者日常生活用具」の追加品目として給付対
象になりました。人工内耳装用には、日々の消耗品の維持・
管理に多くの経済的負担があります。保護者の皆さんが全
国の先進事例を調べ、昨年6月に「人工内耳装用児への助
成に関する要望書」を市長に提出し、会派としても支援を
続けてきましたが、この度、新潟市で初めて電池代が給付
対象になりました。



スクール・サポート・スタッフの継続的配置

コロナ禍で学校現場の大きな支えとなっているの
が、消毒や印刷業務などを担うスクール・サポート・
スタッフです。昨年10月から、新型コロナウイルス
感染症対応地方創生臨時交付金を活用し全校に
配置されていましたが、4月からの配置が難しい
状況でした。

一方、教育委員会では、新年度に教員業務支援
員を現在の39校から80校に増やす予定があること
から、支援員が配置されない85校に、緊急的に
夏休みまで継続して配置するよう求めました。そ
の結果、夏休みまで全校配置は実現しましたが、
今後は1年間継続を求めています。

●新潟市女性議員の会のとりくみ

超党派の女性議員8人で構成する当会では、女性政策にお
いて協働できることは一緒に、調査や聞き取り、勉強会をしな
がら要望行動を年に数回行ってきます。女性政策の促進にお
いて頼もしい会です。



1/28 新年度予算編成にあたって 「女性政策の促進」について市長・教育長要望

1. 新潟市女性つながりサポート事業の継続・強化
2. ひとり親家庭等への支援
3. 女性特有のがん対策の拡充
4. 学校トイレに生理用品を配置

2/24 「母子福祉連合会への活動支援体制強化」について市長要望

1. 委託事業は極力維持し受注機会の増大に努めること
2. 活動に対する支援体制を強化すること

コロナ禍による経済的打撃は母子家庭に大きな負
担を強いています。「母子及び父子並びに寡婦福
祉法」の中核を担い、母子福祉支援に努めてい
る新潟市母子福祉連合会の活動支援体制を強化
し、運営の安定化を図るため、母子福祉連合会
に絞った要望でした。

●「新潟市犯罪被害者等支援条例」制定

7/1 議員提案「新潟市犯罪被害者等支援条例」が6月定例会本会議において、
全会派の賛成を得て制定、7月6日に公布、8月1日施行されました。



犯罪にあわれた方やそのご家族が、一刻も早い被害から
の回復と平穏な日常に戻ることを目指し、施策と支援の
充実を図り、犯罪被害者等を支える目的として条例を制
定しました。本条例は「翔政会」の素案を元に、昨年12
月から条例検討会を設置し、会議を重ね、にいがた被害
者支援センターや県警犯罪被害者支援室とも意見交換を
し、議論を尽くしました。この条例の特徴は、具体的な
施策と予算を伴う「議員提案条例」です。

議会や視察のない日は事務所にあります。市政に関する様々な相談にのっています
ので、お気軽にご相談ください。必要な場合は専門職や行政におつなぎします。
また、月・火・水・木の午後はスタッフがいますのでいつでもお立ち寄りください。
〔あい・いからしの郷〕の看板の奥です

いつでもお立ち寄りください



いしづき
幸子事務所
(市民ネットにいがた西区事務所)
いつでもご相談を
お寄せください

皆さまの市政に関するご意見、ご質問、ご相談はいつでもお寄せください

いしづき幸子事務所

(市民ネットにいがた西区事務所)
〒950-2076 新潟市西区上新栄町 3-4-83
TEL 025-201-8413 FAX 025-201-8423
sachiko-ishizuki@grace.ocn.ne.jp

市民ネットにいがた
市議会会派室
〒951-8550 新潟市中央区学校町通 1 番町 602-1
TEL 025-228-1000

自宅
〒950-2076
新潟市西区上新栄町 4-5-82
TEL 090-5318-5607



2022年
2月定例会
議会報告

一般質問
通告

1. 障がい児・者への ICT 支援と、新潟市障がい者 IT サポートセンターの果たす役割について
2. 新型コロナウイルス禍における女性の自殺対策～生きる支援の提供

1 障がい児・者への ICT 支援と、新潟市障がい者 IT サポートセンターの果たす役割について

- 新潟市障がい者 IT サポートセンターの設立の経緯と新潟大学に委託したメリット、主な実績について
- GIGA スクール構想における障がいのある子どもたちへの支援について
- 知的能力・身体能力に応じたアプリの選択、教材開発、カスタマイズ等について
- 福祉部所管の IT サポートセンターと新設される特別支援教育課との連携について
- IT サポートセンターと連携した ICT 支援は本市 GIGA スクール構想の特徴となりうる

石附質問

本市は、ICTが障がい者の未来を切り開く重要なツールであることを認識し、新潟大学の協力を得て、2008年に政令市で唯一となるITサポートセンターを立ち上げました。現在、ITサポートセンターの職員はICT支援技術のスペシャリストとして、教育分野や医療分野と連携した活動を主軸に事業を展開しています。

昨年導入された GIGAスクール構想による一人1台タブレットは、様々な障がい特性のある子どもたちの、個別最適学習の保障の契機になりうる画期的な機会と私は認識しています。その実現のためには、4月に新設される教育委員会特別支援教育課と福祉部所管のITサポートセンターの連携



出典：山口俊光、林豊彦：新潟市障がい者 ITサポートセンターの挑戦：ICTサポートの分類と具体例(2/2)、日本生活支援学会誌、第22巻1号、pp.9-17、2022。

2 新型コロナウイルス禍における女性の自殺対策～生きる支援の提供

- 女性の自殺者の増加の特徴とその対策について
- 就労の状況が影響する女性の自殺者数の増加について
- 同居人がいる女性の自殺者数の増加について
- 自殺未遂者再発防止事業の支援対象者に 10代、20代の女性が多いことについて
- 悩みを抱える女性に向けた生きることを支えるための自殺対策について

石附質問

2020年、厚労大臣指定法人「いのちささえる自殺対策推進センター」の緊急レポートは、「本年の自殺の動向は例年とは明らかに異なっており、特に男女別では女性の自殺者数の上昇が顕著であった」としています。また、2021年の「自殺対策白書」では、自殺者数総数21,081人、実数は男性が上回っていますが、過去5年平均の自殺者数は、男性は1,053人減少し、女性は347人増加しています。以上の報告では、自殺の背景に、経済生活問題や非正規雇用問題、DV被害や子育て・介護の負担、精神疾患など様々な問題が潜んでおり、感染拡大の影響で潜在的にあった問題が顕在化し、女性の自殺者数の増加に影響を与えている、としています。女性の自殺問題はジェンダー問題と切り離せないもの、もっとジェンダー平等に踏み込んだ対応が必要と考えます。

がカギになってきます。ITサポートセンターとの連携による ICT支援は本市 GIGAスクール構想の特徴として、全国に発信できるものになりうると考えます。

市長・教育長 答弁

ITサポートセンターでは、子どもから大人まで幅広く支援を継続するため、医療機関、教育機関と連携しながら利用者の支援をしてきました。GIGAスクールで採用しているタブレットには、視覚・聴覚・身体障がいなど、障がい種による困難さを補うための機能があり、「読むこと」「書くこと」が可能になり、多様な特別支援対応アプリを活用することで、発達段階や個々の能力や特性に応じた学びの充実につながります。これら、ITサポートセンターからの支援を受けながら、周辺機器の選択やカスタマイズなどにかかわる学校への支援体制を充実させていきます。新設される特別支援教育課においても、個別最適学習の充実は重要であり、ITサポートセンターとの連携は、特別支援教育における特徴の1つとなり得ます。今後も障がいのある子どもたち一人一人の最善の利益を第一に考え、福祉部と教育委員会が連携しながら包括的な支援体制を構築できるよう進めていきます。



市長 答弁

本市における女性の自殺者数は、これまで減少する傾向にありましたが、コロナ禍において、増加傾向にあることを憂慮しています。女性の自殺の原因・動機別の分類において、職場の人間関係や仕事の疲れなどの「勤務問題」が2020年から増加しています。本市には、様々な部署からなる「自殺総合対策庁内推進会議」がありますが、コロナ禍における自殺に関する情報共有、連携強化とともに、NPOや地域の団体も含め、庁外の組織、団体とも連携もしっかりと続けていきたいと考えています。女性の自殺問題に関しては、新型コロナウイルスの影響により、さまざまな課題が顕在化していると考えております。議員がおっしゃるとおり、これらの課題をジェンダーの視点で整理、分析し、引き続き関係部署と連携して対応を進めてまいります。

2022年
6月定例会
議会報告

一般質問
通告

1. 優良な開発と良好な景観～信濃川沿岸地区の良好な景観形成について
2. 乳幼児の不慮の事故防止について

1 優良な開発と良好な景観～信濃川沿岸地区の良好な景観形成について

- 萬代橋の歴史と価値、本市における優位性について
- 新潟市景観計画に信濃川沿岸地区を「特別区域」に設定した経緯について
- 都市再生緊急整備地区における開発と信濃川沿岸地区の景観について
- 信濃川沿岸地域の開発と 50m 高さ制限の緩和の意図・根拠・影響について
- 景観ビジョンを萬代橋東詰エリア、西詰エリア、万代島エリアの3つに分けて考える
- 市民の意見の反映、関心を持つ市民や有識者を交えた十分な検討と議論を深める

石附質問

国の重要文化財である萬代橋と信濃川の水辺空間は本市を代表する景観の1つです。「新潟市景観計画」では、萬代橋を活かしながら開放感のある景観づくりを方針とし、建築の高さ50m以下とすることや、背後の街並みが見えるスカイラインの連続性を重視した景観形成基準を定めています。この度、本市は「都市再生緊急整備地域」の認定を受け、萬代橋周辺地域において建物の高さ150m以上の緩和を提案しています。ホテルオークラ新潟が売却され今後再開発されることが、1つのきっかけと考えますが、全国的にも本市の様な3倍以上の緩和を認める景観計画はなく、私は良好な景観形成に反すると危惧します。拙速に進めることなく、多様な意見を聞いて合意形成を図っていくべきだと思います。地域の特性や歴史に配慮した良好な景観ビジョンを議論し共有することは、再開発と対立するのではなく、より持続性のある、投資効果のあるものとなりうると考えます。

2 乳幼児の不慮の事故防止について

- 乳幼児の不慮の事故の概要について
- 不慮の事故防止の現在の取り組みについて
- 予防・啓発の強化について
- セーフキッズスペースなどの設置について

石附質問

5月に1歳半の男の子が車内で熱中症の疑いで死亡しました。お風呂でおぼれる事故も発生しています。厚労省の調査によると、子どもの死因の上位は不慮の事故によるもので、その数は年間500人に上り、発生場所は家庭内がほとんどです。不慮の事故は子どもの発達に起因するものであり、子育て中の親への知識の提供により予防可能です。



北九州市では「子育てふれあい交流プラザ」に、リビングルームやキッチンなど日常生活空間を再現し、乳幼児の事故防止を具体的に学べる「セーフキッズスペース」が設置されていて、年間1万人を超える人が訪れています。本市においても既存のこども施設等での設置を検討してはいかがでしょうか。

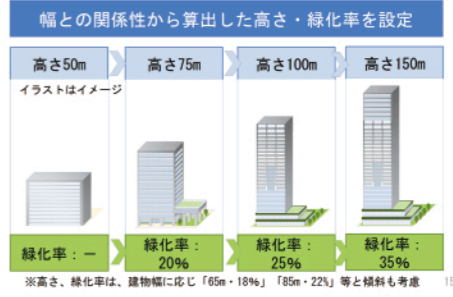
出典：北九州市立子育てふれあい交流プラザ元氣のもりHPより



市長 答弁

新潟市景観計画では、良好な景観形成の「実現に向けた基本姿勢」として、先人が作り上げてきた優れた景観を「まもり」「そだて」、さらに新たに優れた景観を「つくり」、次代に伝えるとともに、「長期的で総合的な視点で取り組む」ことを定めています。信濃川沿岸地区の景観は、市民共有の財産であることから、景観計画の見直しにあたっては、都市再生緊急整備地域の整備方針や、万代島地区将来ビジョンなどに照らし、引き続き新潟市景観審議会のご意見をいただきながら、検討を進めていきます。また、景観

都市再生緊急整備地域内の建物幅・高さ・緑化



出典：第31回新潟市景観審議会資料より

市長・消防長 答弁

本市では、こにちは赤ちゃん訪問や乳幼児健診時などに、事故予防のパンフレット等を配布し、行動範囲が広がってきた頃の注意点や真夏の熱中症予防など、成長発達や季節ごとに想定される不慮の事故防止について、具体的に説明を行うよう努めていきます。現在、子ども支援施設には、常設の設置が可能なスペースはありませんが、視覚や体感による啓発の取組みは重要と考え、こども創造センターなどで実施するイベントの機会を捉えて、事故防止の啓発も検討していきます。



●新潟市消防局事故防止のリーフレットはこちらからダウンロードしてください

